

モンゴル国工業開発計画調査
簡易企業診断結果報告書

[4 2]

セクター：羊毛・カシミア・ニット産業
企業名：Monnoos Co.,Ltd.

JICA LIBRARY



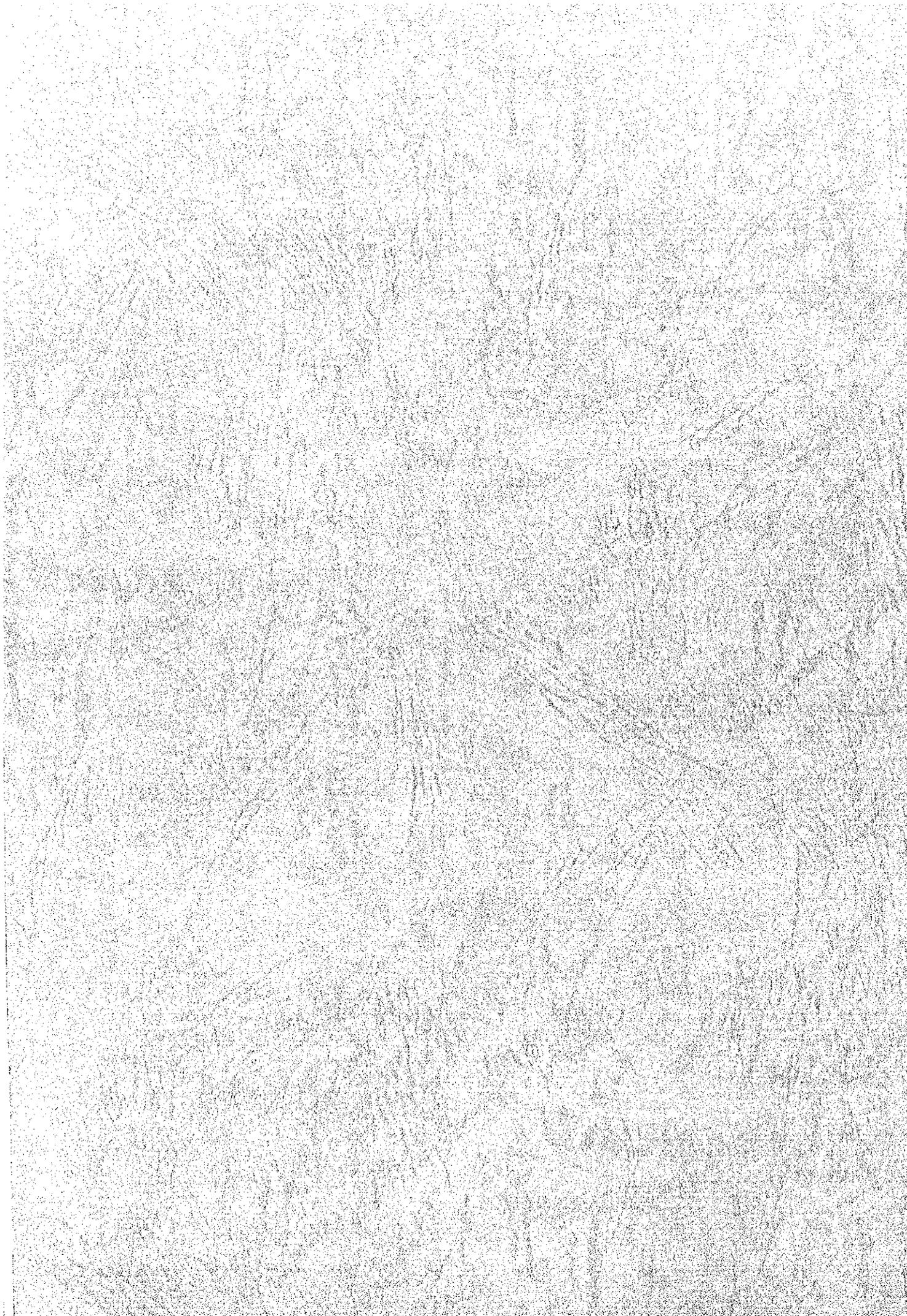
J1148658(6)

1999年1月

国際協力事業団
株式会社サイエス

JICA
115
60
MPI
LIBRARY

鉦調工
CR(3)
99-020



企業診断報告書 (Monnoos Co., Ltd.)

1. 訪問日および診断担当者

・訪問日：1998年7月28日、8月5日、11日、10月19日

・診断担当者：経営管理：太田敏夫

生産管理：立花裕

・面談者：General Director R. BAT-ERDENE

General Engineer A. OYUNCHIMEG

VICE Director D. GIVAAPIL

Technology Engineer T. Ouynsetseg

2. 企業概要

元国営企業であり現在でも資本金 35 億 TG、生産能力 5000 Ton/年以上を有し、羊毛洗毛業界のリーダー的存在であるが、'97 年の生産量は 1,082TON にとどまっている。輸出比率は 80%以上と高い。

(1) 所在地：本社及工場 ULAANBAATAR-36 P.O. BOX450

(2) TEL：99112227、976-1-342591、976-1-342038

FAX：976-1-342670

(3) 従業員：200 名（技術者 10 名 経理事務 10 名）

現在選別要員は 56 名

3. 経営の現況

経営の現況は添付の企業訪問調査表 Fig.1 に示す。

4. 生産

4-1 生産量の推移

	1985	1989	1993	1995	1996	1997
生産量	(*5,000ton)		2,300ton	1,036ton	758ton	1,082ton

*生産能力

4-2 特記事項

(1) 生産量の低迷は資金不足に起因する原料不足による。

(2) ウールの買付けシーズンは 4 月から 9 月である。年間 5,000Ton を洗毛する量



1148658 {6}

の買付けは資金不足のため不可能である。

(3) ウールの太さによる生産量の順位は

1. 34~37 μ

2. 29~34 μ

3. 23~29 μ

4. 19~23 μ

(4) 選別は重要である。(写真1, 2) 選別量は1日実動7時間で450kg/1人、選別結果は毎日チェックしている。

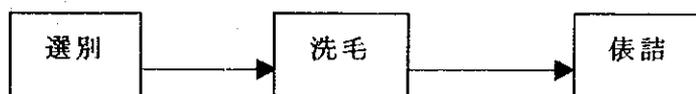
(5) 原毛より洗上り歩留は56~65%

(6) 選別ではフェルト、色付、kempy、雑質などを分別している。

フリースの部位により10種類に分類している。背中部分は良質の毛がある。

4-2 生産工程

下記3工程で生産される。



4-3 生産設備

主要設備は下記の通りである。

(1) 洗毛機

a ポーランド製 5槽方式 (79年製) 最後に乾燥機付 2列 (写真3)

1列の生産量 350kg/時間・7時間操業/日

b 英国製 5槽方式 (83年製) 乾燥機付 1列

生産量 120kg/時間・7時間操業/日

(2) 検査室

水分率の測定、残脂率の測定、織度測定及、繊維長測定、その他、一般的に必要な測定器具はそろえてある。

(3) 汚水処理設備

第一次処理は工場内で行い 20km 離れたウランバートルの中央汚水処理場へ送り、処理する。

(4) 修理用の小工場を持っており、旋盤、ホール盤、溶接設備、その他を一応そろえている

(5) 洗毛排水から分離採集する「粗製ラノリン」の回収装置を2基そなえている。

(6) 輸出時にコンテナの輸送費を抑えるために英国よりパッキング・マシン (写真4) を最近新設した。従来のロシア製機械でパックすると90kg/ベールであるが、

新しい英国製機械でパックすると150kg/ベールになり、丈数を減少できる。(写真5)

(7) 副資材の洗剤、梱包資材は中国、インド、ロシアより輸入している。

4-4 改善、提案

洗上がり羊毛が全体にくすんでいる。商品価値を高めるためには白度向上が必要。このため洗毛の最後の工程に漂白剤を添加することを薦める。

5. 販売

5-1 販売輸出実績

下記に'95～'97年の販売及輸出実績を示す

単位：千 Tg

	'95	'96	'97	'98(3Q)
純売上高	732,147.20	648,412.30	1,021,917.30	385,453.50
増加比率	—	0.88	1.40	
輸出			647,767.60	251,856.90
総売上高との比			0.62	0.65

1) 販売高 (Tg)

1995年に比し、必ずしも順調に伸びていない。'96は原材料買体用資金が不足し、減産せざるを得なかった。

2) 輸出割合 (%)

	金額	生産量
1997	62	82
1998	65	82

生産量で82%と殆ど輸出である。輸出先は英国、ベルギーが主であり中国へは一部分のみである。

5-2 生産量

単位：Ton

	95	96	97	98(#3Q)
洗上羊毛	1,036.00	738.3	1,082.00	433.40
伸び率	—	0.73	1.05	

生産の伸びは殆どなく、横這い。主として原料不足が原因。参考までに過去の生産量を下記に示す。

'85～'89	5,000 t
'93	2,300 t

5-2 問題と改善点

- (1) '95年以降生産、売上共に横這いで、殆ど伸びていない。
- (2) 地場への販売及び受託加工は非常に少なく、殆どが欧州輸出である。しかし運転、輸入資金不足で原料の買付けが充分でないため売上チャンスを逸している。
- (3) 生産量は過去の実績に遠く及ばない。

5-3 販売に対する提言

- (1) 先付(down payment)を条件とする契約へ変更し、運転資金を捻出、出来ないか研究を進めるべきである。
- (2) 社長は洗毛業以外への進出意図はない様である。
洗上羊毛の販売先としては、日本等への羊毛フトン中綿として、羊毛パッド材が考えられる。

6. 財務

6-1 現状

財務、経理システムは国際会計基準に従って組み立てられている。決算書の記入作成は良好である。

下記は、提出のあった損益計算書抜粋である。

損益計算書抜粋 (Monnoos Co., Ltd.)

単位：Tg

	1996	1997	1998(2Q)
総売上高(A)		1,036,585,603	167,157,438
売上原価		755,409,037	118,199,141
税引前利益(N)		282,895,802	37,117,153
法人税		94,987,832	5,581,250
純利益		187,907,970	31,535,903
総売上高対税引前利益率(%)	N/A	27.3	22.2

7. 投資計画

7-1 投資戦略

試験室用・試験器を充実し、品質レベルの向上以外に特に目立った戦略はない。

7-2 資金需要

単位：千 Tg

'97 純利益	'97 減償額	運・資		設・資		
		金額	使途	金額	使途	償還年数
187,908	7,282	3,184,725	原材料購入	348,300	検査機器送毛 ファン	1.8

- (1) 運転資金は 5,000 t/年生産を想定した場合の必要原料等の購入資金である。
- (2) 設備資金は試験機器の更新、近代化及び送毛ファンに当てる。尚、現状の生産量の利益で充分返済出来る。
- 問題は運転資金の不足である。

8. 総評

- (1) かつて、羊毛企業体の第 1 工程として洗毛を分担した会社である。5,000 t/年の生産規模の大型洗毛工場である。技術の蓄積、経験もあり、この機能を有効に活用する必要がある。
- (2) 運転資金の不足を解消すれば、大巾な成果が得られる。羊毛、カシミヤ工業会からの低金利の輸出ユーザンス（仮称）金融を設定し、融資する可能性はあるはず。
- (3) 「診断評価結果のまとめ」 Fig. 2 および「総合評価内容説明資料」 fig. 3 を添付する。

Company Survey Sheet

Sequential No	7	Date of Survey	28 July 1998	Name of survey	Tachibana Ohta
---------------	---	----------------	--------------	----------------	----------------

	Item	Surveyed content
1	Name of company	Monnoos Co.LTD.
2	Address	Ulaanbaatar36
3	Telephon/Fax:	TEL: (976-1) 342591 FAX: (976-1) 342670
4	Established/Commence of operations:	December 1991
5	Capitalized at:	3.5 billion Tg.
6	Persons responsible for Management:	President: Person in charge of production:
7	Situation regarding Shareholders:	51%by other domestic companies 49%by small domestic business owners
8	Number of employees	Total number:188 (12 Engineers)
9	Building plot/building:	PLOT area :44,467 m ² Floor space :10,800 m ²
10	Turnover (Tg.)	1,021,917,300 Tg. ('97)
11	Product Sales structure	Scouerd 78.6% Wool 21.4%others
12	Customers (percentage of exports and countries exported to)	63.4% Finished wool products exported to U.K,Belgium and china(bartar)
13	Amount of purchases('97)	Main Material: 270,749,700Tg Sub Material: 28,626,000Tg
14	Purchased source('97) Ratio:Purchased from abroad/Total by country	Main Material: Wool:100% domestic Sub Material: Machine parts :China(50%) India(20%) Russia(15%)
15	Main equipment	Wool Scoring
16	Production footing	Working Season :Aug. ~Dec. 1 shift, partly 2 shift
17	Process divisions	
18	Problems/main items that need to be improved	Low rate of operation due to shortage of running fund.
19	Other matters worthy of mention	

Fig. 1

総合評価内容説明資料

強み	<p>1) 本格的な洗毛機3列を持った洗毛専業者であり、多くのノウハウと経験とを持っている。</p> <p>2) 営業成績も良く、総売上高対税引前純利益率N/Aも高い。</p>
弱み	<p>1) 運転資金が不足し、稼働率が低い。</p> <p>2) 各社が自前の洗毛機を持ったため、受託加工も少なくなった。</p> <p>3) 単純な工程であり、付加価値が低い。</p>
問題点	<p>1) 本来ならば、2シフト生産を行い、製品の洗上羊毛を英国、ベルギー等へ多量輸出すべきである。運転資金の不足は影響が大きい。</p> <p>2) 運転資金の不足を補うため、固定客とはダウンペイメント制を導入し、売上の増加を図る事が必要だ。</p> <p>3) 川下の他社との連携作業を進められる。ウランバートル・イブスと組み、牧民相手に原料羊毛とカーペットとのバーター取引をトライしている。更に一步合作を進めるべきである。</p>
その他	<p>1) ウールグリースの回収システムが2基あり、粗製ラノリンを回収している。</p>

Fig. 2

モンノース社 評価結果のまとめ

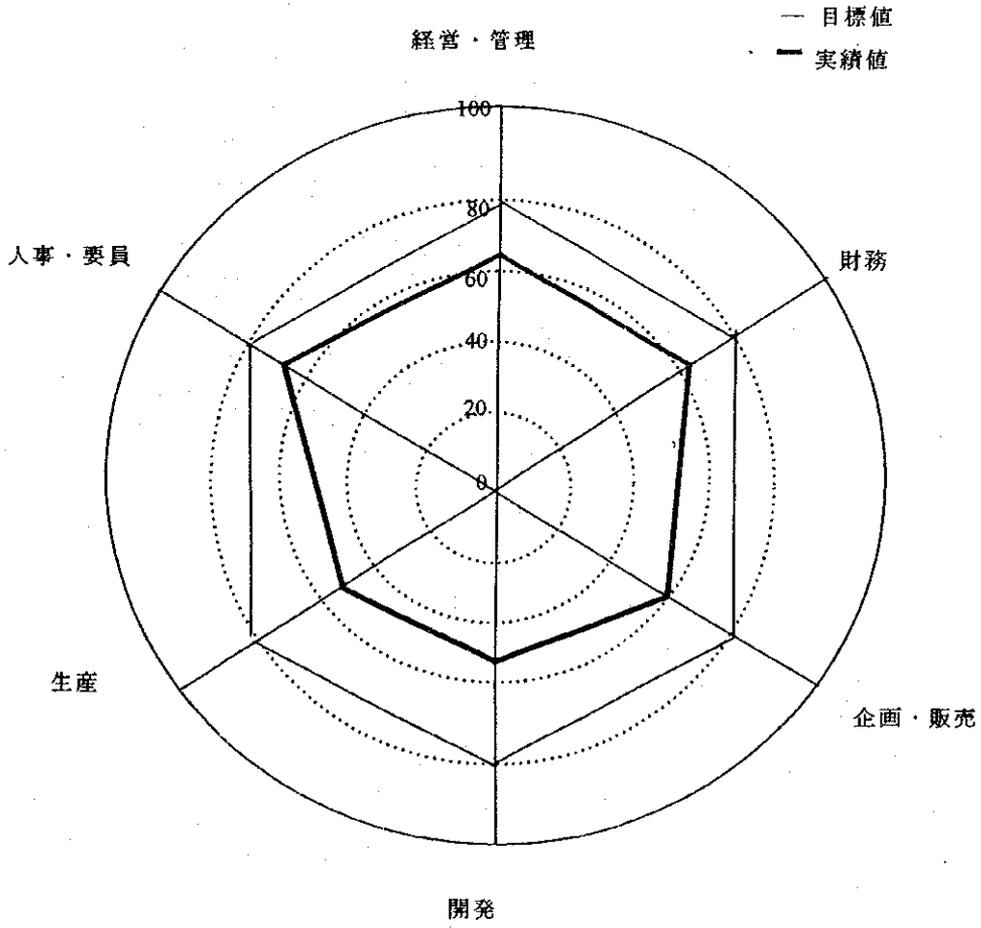


Fig. 3



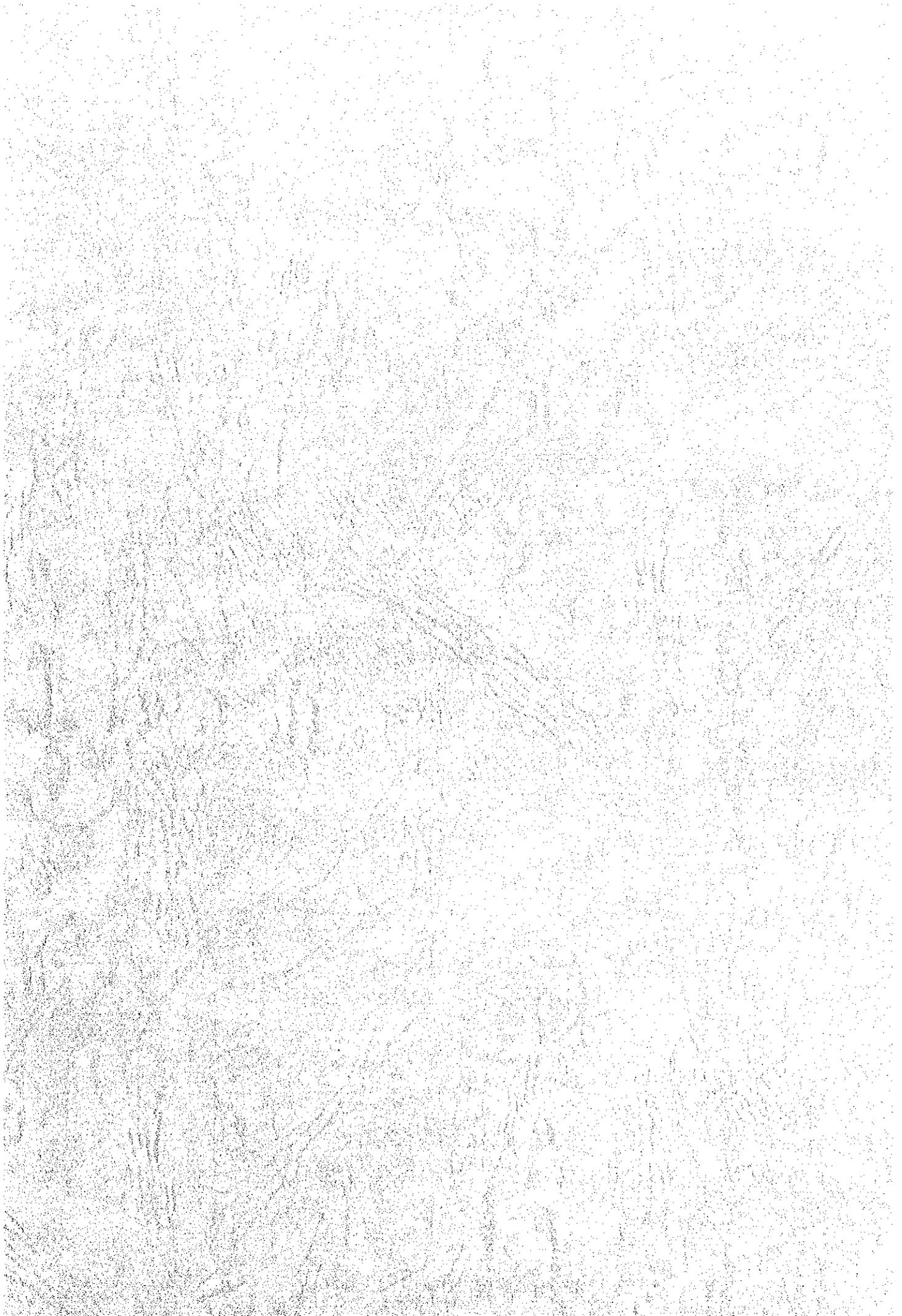
写真1

補修中の洗毛槽：ポーランド製洗毛槽



写真2

イギリス製パッキングマシン 旧機は90 kg/俵であるが、
新機は150 kg/俵で輸送費の節約に役立つ



JICA